



音と心が一体となった感動と、夢を開く生き方

～創立 70 周年を記念して～

校長 山本 美和

夏休みが終わり、朝晩のひんやりとした空気に、季節が「秋」に進むを感じる今日この頃です。今秋は、各学年の校外学習や遠足、4、5年の宿泊体験学習など、学年ごとの行事が多くなります。また、今年は創立70周年記念式典が11月13日（金）に行われます。創立70周年実行委員会（学校、保護者有志、地域の方で構成）の活動も、いよいよ大詰めです。子どもたちのよき思い出となるよう、しっかり準備していきたいと思います。

実は、この記念すべき年を祝い、伝統の校歌を新たに「二部合唱」へ、アレンジいたしました。9月9日（水）は、その歌唱指導と伴奏、また子どもたちへの素敵な演奏のプレゼントのため、本校卒業生でピアニストの林直樹さんがご来校してくださいました。

林さんは、幼少期に耳で聴いた曲をすぐにピアノで再現して大人を驚かせたという才能の持ち主ですが、小学校2年から高校3年までは野球に熱中されていたそうです。しかし、肘の怪我で野球を断念。そこからわずか半年の準備で音楽大学に合格し、首席で卒業された後は大学院を経て、現在は国内外のオペラ界でご活躍されています。挫折を乗り越え、自分の可能性を信じて道を切り拓いてこられた林さんの生き方は、子どもたちの心に強い勇気と励みを与えてくれました。

当日は、林さんがまず「革命（ショパン作曲）」「からたちの花（山田耕作 作曲）」「英雄ポロネーズ（ショパン作曲）」を演奏してくださいました。その後、美しいピアノ演奏のもと、全校児童で校歌を歌い上げ、体育館が「音と心が一体となる」感動に包まれました。その模様は地域紙「タウンニュース」の取材を受け、後日記事となる予定です。また、プロの業者による録音音源は、11月13日（金）の創立70周年記念式典で配付する記念誌に二次元コードとして掲載し、ご家庭で永くお聴きいただけるようにいたします。

大先輩から生き方を学び、全校で心をひとつに響かせたこの体験は、子どもたちにとって一生の宝物です。70年の歴史を受け継ぎ、自らの夢に向かって力強く歩いていく子どもたちを、これからも温かく見守ってまいります。引き続き、本校教育活動にご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。